

第三節 運送契約

鹽ノ運送請負人ハ各發送元局所毎ニ又ハ便宜數出張所毎ニ直接國稅二十圓以上ヲ納メ運送業又ハ鹽ノ販賣業ニ三箇年以上從事シタル者ノ中ヨリ發送元局長ニ於テ之ヲ指定シ其ノ契約期間ハ別ニ一定スルコトナク運賃ハ回送ノ都度豫メ提出スル運賃見積以内ノ金額ニテ引受ケシムルコトトシタルモ明治四十年七月ヨリ官費回送ニ付テハ前記有資格者中ヨリ指名競争ニ依リ之ヲ定メ且其ノ回送請負金額ハ常時之ヲ一定シ特別ノ事由ナキ限りハ請負人ヲシテ時ト場合トニ依リ變更セシメサルノ方針ヲ採リタルモ事實上夏期ト冬期トニ依リ著シク回送費ヲ異ニスルヲ以テ一箇年度ヲ通シ一定スルコト能ハサルモノト認メ四月ヨリ九月迄ト十月ヨリ三月迄ノ二期ニ區分契約スルコトト爲セリ明治四十一年七月以來發送元ニハ運送請負人ヲ回送先ニハ荷揚請負人ヲ指定シ該運送及荷揚請負契約ハ毎年度毎ニ之ヲ更新スルコトトシタルモ明治四十二年六月以來運送請負人ノ資格ハ直接國稅二十圓以上ヲ納メ運送業ニ三箇年以上從事シ尙引續キ現ニ從事スル者ニ改ムルト同時ニ發送元ヨリ回送先港灣又ハ停車場ニ至ル運送ト回送先ニ於ケル荷揚倉入トハ同一人ヲシテ請負ハシメ尙其ノ請負契約ハ毎年度自四月及至十一月二期ニ更新スルコトト爲セリ蓋シ契約期間ノ變更ハ夏季ト冬季ニ依リ運賃ニ差異アルヲ以テ之カ區分契約ニ依リ成ルヘク運賃ノ低減ヲ期スルニ在リタルモ事實冬季間割高トナルハ新潟直江津、土崎及酒田方面ノ不長港ニ限り殊更之カ爲區分契約ノ要ナキノミナラス却テ所期ノ目的ヲ達スルコト能ハサルモノト認メ同四十四年四月以來運送契約ハ更ニ毎年度毎ニ之ヲ締結スルコトニ改定シ引續キ今日ニ至レリ

之ヨリ先キ明治四十三年二月中十州地方ニ於ケル鹽元賣捌人代表者九名出局陳情スルトコロニ

依レハ鹽ノ官費回送制度ハ十州地方ニ於ケル管外鹽元賣捌人ノ營業上ニ打撃ヲ與ヘタルコト尠カラス然ルニ若シ來年度ニ於テ更ニ政府ノ回送費負擔歩合ヲ増加セラレルトキハ益營業ノ範圍ヲ縮少セラレ到底廢業ノ外ナカルヘキヲ以テ政府ハ民費回送鹽ニ對シテモ官費回送鹽ト同シク其ノ回送費ノ一部ヲ補助セラルルカ然ラサレハ轉業補償金ヲ下付セラレタシト云フニ歸著セリ然レトモ右ハ固ヨリ之ヲ認容スヘキモノニアラサルヲ以テ其ノ旨ヲ諭示シタルニ彼等ハ更ニ此ノ際合同シテ鹽ノ運送會社ヲ組織スヘキニ依リ次期以降ニ於テハ隨意契約ヲ以テ鹽運送請負ノ指定ヲ受ケタキ旨ヲ申出テタリ依テ當局ハ會社ノ組織經營等ニ付キ政府ノ指定スル條件ヲ具備スルニ於テハ隨意契約ニ依リ之ヲ指定スルモ妨ケナキモノト認メ左ニ列記セル條件ヲ指示シタリ

一 會社ハ各專賣支局毎ニ一箇ヲ組織スルコト

二 所謂產地ノ問屋(管外元賣捌人)ト稱スル者ノ全員ヲ網羅スルコト

管外元賣捌人ト雖或ハ微々タルモノ或ハ實力ナキモノ或ハ加入ヲ欲セサル者等アルヘシ然レトモ其ノ全員ヲ網羅スルハ本局ノ希望スル所ナルヲ以テ此ノ際各代表者ニ於テ先ツ漏レナク加入ヲ勸誘シ若シ之ニ應セサル者アルトキハ其ノ氏名竝事由ヲ具シ所轄專賣支局ニ申告スルコト

三 既往及現在ノ鹽運送請負人及請負有資格者ノ全員ヲ網羅スルコト

本項末尾ノ所謂有資格者中未タ曾テ一回モ入札セシコトナキ者又ハ入札セシコトアルモ其ノ組織經營等ノ微々タル者ノ如キハ或ハ之ヲ除外スルモ妨ケナシ尙止ムヲ得スムハ結局既往及現在ノ鹽運送請負人ヲ網羅スルニ止ムルモ可ナルヘシ

四 船主トノ聯絡充分ナルコト但シ船主ヲ株主タラシムルト否トハ自由ナルヘシ

五 運轉資本ハ潤澤ナルコト

資本ノ程度ニ付テハ數字のニ之ヲ示スコト能ハサルモ其ノ所轄專賣支局ノ一箇年回送數量ニ對スル運賃總額ノ五分ノ一若ハ六分ノ一位ヲ適當ト認ムルニ依リ概ネ右ニ準シテ決定スルコト

六 會社ノ幹部員タルヘキ者ハ資産信用及鹽ノ回送ニ付經驗ヲ有スル者タルヘキコト

其ノ選定方ニ付テハ選舉ノ上所轄專賣支局長ニ申出テ本局ノ承認ヲ受クルコト

七 各會社ノ組織等ニ付テハ可成一途ニ出テ彼此相違ナキヲ要スルカ故ニ其ノ定款草案ハ此

ノ際代表者等ニ於テ作成シ本局ノ承認ヲ受クルコト且會社組織ノ進行等ニ付テハ可成所

轄專賣支局長ニ協議スルコト

八 契約ハ一年度限リトシテ締結スルコト

右條件ニ對シ彼等ハ何レモ異議ナキ旨ヲ答申セルカ爲政府カ各發送元支局毎ニ會社ヲ組織セシムルコトトナレリ然レトモ次期ノ運送契約ハ當時切迫シタルカ爲右新設會社ヲ指定スルハ事實至難ナルヲ以テ已ムヲ得ス從來ノ請負人ヲ引續指定シ會社成立ヲ俟テ其ノ請負ヲ承繼セシムルコトト爲セリ其ノ新設會社名竝設立登記及請負承繼年月日ハ左ノ如シ

明治四十三年五月十七日設立 赤穂鹽回送株式會社 明治四十三年七月十五日設立 撫養鹽回送株式會社

同 年六月十一日承繼 同 年八月三日承繼

同 年六月十七日設立 同 年九月十三日設立

同 年八月二十七日承繼 同 年十月一日承繼

同 年九月二十三日設立 同 同四十四年一月二十一日設立

同 年十月二十五日承繼 三田尻鹽回送株式會社 味野鹽回送株式會社

十州鹽ノ回送ニ付テハ爾後毎年度隨意契約ニ依リ前記會社ヲ指定シ其ノ他鹽ノ回送ニ付テモ從來ノ請負人ニシテ既往ノ取扱誠實ニ且適當ナル運賃ヲ以テ請負ヲ爲ス者ハ引續キ之ヲ指定スルコトトセリ

右ノ如ク鹽ノ運送請負ハ隨意契約ニ依リ之ヲ定ムルカ爲當局ニ於テ運賃額ノ當否ヲ判斷スルハ

最必要ノ事ニ屬ス殊ニ鹽ノ回送ハ重ニ海運ニ依ルカ爲斯界ノ盛衰ニ伴ヒ毎年度運送請負額ニ著シキ高低ヲ生スルヲ免カレス是ヲ以テ當局ハ常ニ海運界ノ狀況ヲ查察シ鹽其ノ他一般貨物ノ回送實費ヲ調査スルハ勿論請負人ノ收支計算等苟モ運賃決定ノ參考ニ資スヘキ材料ハ悉ク之ヲ摺撫シテ請負契約上ノ遺漏ナカラムコトヲ期セリ

明治四十二年七月鹽販賣官署所在地外一定ノ場所ニ於テ回送鹽ノ引渡ヲ開始スルニ至リ運送請負人ハ聯合決議ヲ爲シ引渡場所ニ對スル鹽運賃中手數料ノ増額ヲ出願シタリ蓋シ販賣官署ノ如キ倉庫ノ所在地ニ回送スルモノハ荷揚倉入人ヲ回送先引渡代理者ト爲シ別ニ手數料ノ支給ヲ要セサルモ引渡場所ニ回送スルモノハ船車渡ナルヲ以テ特ニ代理者ヲ設クルヲ要シ從テ相當手數料ヲ支給セサルヘカラサル等酌量スヘキ事情アルヲ認メ販賣官署所在地外引渡其ノ他一般船車渡回送鹽ハ左ノ方法ニ依リ取扱ヲ爲サシメ運送請負人及鹽買受者相互ノ便ヲ圖ルト同時ニ運賃ノ低減ヲ期スルコトトシ明治四十三年十月ヨリ之ヲ實施シタリ

一 鹽引渡地以外ニ在ル鹽買受人ハ通常引渡地ニ於ケル荷揚倉入人ヲ引取代人トシテ鹽ノ引取ヲ爲スヘキヲ以テ當該官署ハ其ノ取扱ヲ爲サシムル爲引取代人ヲ指定シ之ヲ買受人ニ周知セシメ右引取代人ヲ經テ鹽ヲ引取ラシムルコト尤モ鹽買受人自ラ鹽ノ引取ヲ爲スハ之ヲ妨ケサルコト

二 指定代人ハ其ノ地ニ於ケル荷揚倉入人ヲ以テ充テ鹽買受人ノ指定スル地點迄適當ノ運賃ヲ以テ鹽ノ運送ヲ掌ラシメ當該官署ノ認ムル手數料ノ外何等ノ費用ヲモ要求セシメサルコト

三 指定代人ハ發送元運送請負人ノ回送先官署ニ對スル引渡代理人タラシメ船車渡ノ場合ニ於テモ別ニ發送元請負人ニ對シ手數料ヲ請求セシメサルコト

鹽ノ鐵道輸送ハ海運ノ如ク一時ニ多量ノ鹽ヲ運賃割安ニ回送スルコト能ハサレトモ海運ノ便ナキ箇所ニ在テハ勢ヒ鐵道輸送ニ依ラサルヘカラサルハ勿論鐵道輸送ハ鹽ノ速達及其ノ損傷ナキヲ期スル上ニ於テ必要機關ナルト同時ニ鐵道官憲ニ於テモ亦成ルヘク多量ニ鹽ノ回送引受ヲ欲シタルカ爲規定運賃ノ低減及其ノ回送取扱方ニ關シ左ノ如ク協定シ明治四十三年十一月二十五日ヨリ之ヲ實施シタリ

鐵道院營業課長照會院營乙第一七五三號ノ三（明治四十三年十一月七日）

豫テ御交渉中ノ食鹽運賃低減其他ノ件ハ左記ノ通ニテ取極メ度候ニ付何分ノ義至急御回答相煩度候也

追テ三田尻專賣支局管内發送ノ分ハ尙ホ取調致度候ニ付後日ノ御協議ニ相讓度候

第一 賃金ノ件

一 發著驛及賃金左ノ通

發著驛	鹽	釜	仙	臺	長	町	江	尻	名古屋	金敦	ケ	崎賀	福	井	伏	木
會	根	七〇	八〇	八〇	八〇	九五	一四〇	一四〇	一四〇	一四〇	一四〇	一四〇	一四〇	一四〇	一四〇	一四〇
飾	磨	七〇	七五	七五	七五	八〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇
那	波	七〇	七五	七五	七五	七五	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇
字	野	七〇	七五	七五	七五	七五	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇
笠	岡	七〇	七五	七五	七五	七五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五
松	永	七〇	七五	七五	七五	七五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五
尾	道	七〇	七五	七五	七五	七五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五
糸	崎	七〇	七五	七五	七五	七五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五

備考

- 一 前記賃率ハ貸切扱一噸一哩ノ割合ヲ示ス
- 二 賃率ヲ掲ケサルモノハ規定ノ賃金ヲ徴收ス
- 三 名古屋及名古屋以東著ノモノハ東海道線經由ノ哩程ニヨリ計算スルモノトス但關西線ヲ經由シ其規定賃カ割安ニシテ託送者カ此線路經由ヲ指定スルトキハ之ニヨル
- 四 前記伏木著賃率ハ院線内ノ賃率トス中越線内ハ規定ニヨル

五 貨金計算方ハ貨金表所定ニヨル

曾根、節磨、那波、宇野、發辰野、松本、郡山、著及笠岡、松永、尾道、糸崎、發辰野、松本著ハ規定貨トス
發著手數料ハ規定ノ通トス

一期間 自四十二年十一月至四十四年十月末日

第二 積載箇數ノ件

有蓋車ノ積載箇數ハ左記ノ通其標準ヲ定メ取扱可致尤モ右ハ標準ナルニヨリ荷造ニ異狀アルカ又ハ在中斤量ニ疑アルトキハ此標準ニ依ラサルコト、承知セラレタシ

品種	車輛	五噸車	六噸車	七噸車	九噸車	十噸車
八十斤 呎入	一〇二箇	一一二箇	一四三箇	一八四箇	二〇四箇	
四十斤 呎入	二〇二	二四二	二八三	三六四	四〇四	
四十斤 俵入	二〇五	二四六	二八七	三七〇	四一一	
二十斤 俵入	四〇五	四八六	五六七	七二九	八一〇	

第三 其他ノ件

一 託送名義者ノ件

貴局カ直接託送者トシテ差支有之別ニ輸送請負者ヲ定メラルル由ニ付テハ豫メ其輸送請負者名ヲ通知セラレ度サスレハ當方ハ右輸送請負者ト運送契約ヲ締結スルコトニ致スヘシ

一 著地ニ於テ託送換ノ件

食鹽積貨車カ著驛(第一著驛)ニ到着ノ際積荷ノ儘(積卸作業ヲ省クタメ)前掲ノ著驛以外ノ他驛(第二著驛)ニ轉送セントスル場合ニハ當方ハ差支ナキ限リ其求メニ應スヘシ尤モ此場合ニ於テ第一著驛ニ於テ一旦積車ヲ開封シ鐵道係員立會ノ上在中貨物ヲ點檢シ受荷主及新託送者ニ於テ之ニ異狀ナキヲ承認シ受荷主及新託送者カ完全ナル引渡ナルコトヲ承諾スルヲ要ス從テ新託送ニ就テハ第二著驛ニ於テ積載貨車ノ封鎖及車體ニ異狀ナキトキハ鐵道ハ在中品ノ事故ニ關シテハ一切ノ責ヲ負ハサルヘキコトヲ新託送者ニ於テ承諾ヲ要スル義ト承知セラレタシ

一 輸送請負人ヨリ徵收スヘキ前記發著貨物貨金ハ之ヲ貴局ヨリ支拂ヲ受タルトセハ後拂扱トシテ差支ナシ御異存ナクハ他ノ官廳ノ振合ニヨリ一箇月毎ノ後拂トシテ當方關係管理局ヨリ貴局關係支局ニ請求スヘキニ付發驛ト要求スヘキ支局トノ關係ヲ知リタシ

一 貨物託送方ノ件前記貨金後拂及積載標準箇數扱ヲ爲スニ就テハ之ヲ請負ニ係ル貴局ノ食鹽ナルト其他ナルトヲ區別スルタメ相當ノ方法ヲ講セラレタシ
專賣局販賣部長回答丁第四一五〇號(明治四十三年十一月十八日)

本月七日付院營乙第一七五三號ノ三ヲ以テ食鹽運賃低減其ノ他ノ件ニ關シ御申越ノ趣了承右ハ異議無之候條本月二十五日ヨリ執行ノコトニ致度尙回送鹽發送元官署ト發驛トノ關係ハ左記區分ノ通ニ有之候ニ付運賃ハ當該專賣支局長宛御請求相成度又當局輸送ノ食鹽ナルト否トヲ區分スル爲メニハ運送狀適宜ノ場所ニ「官費」ノ文字ヲ記載シ當該發送元官署ノ證印ヲ押捺セシムルコトニ取扱ハシムヘク候條右御了知相成度(左記區分省略)

右施行後ノ實驗ニ徵スレハ回送鹽ノ貨車積載箇數ハ往々其ノ標準數量ヲ超過スルモノアリタル

發 著 驛 驛	松 本 野	辰 野
糸 崎	九 五	九 五

追加(明治四十四年七月)

會根、飾磨、那波、宇野、笠岡、松永、尾道、糸崎發 一噸一哩二付 一錢 追加(明治四十五年四月)

右協定、大正二年三月三十一日迄繼續ヲ爲シ同年四月一日ヨリ更ニ左ノ如ク協定實施シタリ

- 一 回送受負者左ノ通
 - 赤穂鹽回送株式會社 三田尻鹽回送株式會社 味野鹽回送株式會社 阪出鹽回送株式會社 尾道鹽回送株式會社 撫養鹽回送株式會社
- 二 發著驛及運賃左ノ通

發 著 驛	鹽 釜	仙 臺	江 尻	名古屋	(關西) 四日市	松 本	辰 野	敦 賀	(北陸) 金澤	福 井	(中越) 伏木	米 子	(山陰) 境
會根(山陽)	¥ 4.57	¥ 5.11	¥ 2.98	¥ 1.83	¥ 1.83	¥ 1.83	¥ 2.02	¥ 2.04	¥ 2.48	¥ 2.99	¥ 1.93	¥ 2.04	
飾磨	4.62	4.87	2.62	2.54	1.58	1.58	2.12	2.18	2.59	3.09	1.92	2.02	
那波	4.69	4.95	2.69	2.47	1.59	1.59	2.24	2.25	2.70	3.19	2.01	2.12	
宇野	5.13	5.41	3.01	2.97	1.93	1.93	2.98	3.00	—	—	—	2.63	
笠岡	5.18	5.47	3.06	2.92	1.98	1.98	2.47	2.48	2.84	3.26	2.70	2.81	
尾道	—	—	3.17	3.08	2.11	2.11	2.62	2.63	2.98	3.39	2.86	2.97	
糸崎	—	—	3.01	3.00	2.16	2.16	2.68	2.69	3.04	3.45	2.92	3.03	
津井	—	—	3.06	3.06	2.20	2.20	2.75	2.74	3.10	3.50	2.97	3.08	
柳井	—	—	—	—	—	—	4.06	4.07	3.08	3.77	3.86	—	
下松	—	—	—	—	—	—	8.07	8.08	3.08	3.77	3.86	—	
福川	—	—	—	—	—	—	8.21	8.22	3.22	3.94	4.00	—	
三田	—	—	—	—	—	—	8.28	8.29	3.29	4.02	4.08	—	
尻	—	—	—	—	—	—	8.38	8.39	3.39	4.12	4.17	—	
安治川口	4.25	4.75	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

前記伏木著運賃ハ院線内ノ運賃ニシテ中越線内ハ規定トス
 松永、尾道、糸崎、發、鹽釜、仙臺著、會根(山陽)、發、名古屋著、宇野、發、福井、伏木著、會根(山陽)、飾磨、那波、宇野、笠岡、松永、尾道、糸崎、發、郡山(東北)著、會根(山陽)、飾磨、那波、宇野、笠岡、松永、尾道、三田、尻、發、松本、辰野著、
 甲府著、安治川口、會根(山陽)、飾磨、那波、宇野、笠岡、松永、尾道、糸崎、發、郡山(東北)著、會根(山陽)、飾磨、那波、宇野、笠岡、松永、尾道、三田、尻、發、松本、辰野著、
 柳井、津、下松、福川、三田、尻、發、米子、境、山陰著、門司、發、熊本著、規定運賃(特定運賃アルモノハ特定運賃)ヲ收受ス
 三 貨車積載標準箇數左ノ通
 八十斤入(叭又ハ俵入)一噸二付 二十箇
 四十斤入(叭又ハ俵入)一噸二付 四十箇
 著地ニ於ケル託送換

西部管理局ハ二箇月毎ニ發送數量ヲ發着驛別（門司勢ヲ除ク）ニ區別シ（同一驛ヨリニ專賣支局ノモノノ發送アリタルトキハ之ヲ區別シ）本院營業課ニ報告ス（シ）

鹿兒島專賣支局ニ對スル汽車回送鹽運賃ニ關シ九州鐵道管理局ト左ノ通協約シタリ

- 一發着驛名 鹿兒島著
- 一運賃（一噸ニ付） 門司發 鹿兒島著 金貳圓拾七錢
- 一期限 自大正二年五月二十六日 至同三年三月三十一日
- 一運賃支拂方 後拂ノ取扱ヲナスモノトス

直江津、新瀨及九州線行回送鹽汽車運賃率ハ左ノ通協定大正二年六月一日ヨリ實施シタリ

發着驛	新直江津				
	湯津	門司	長崎	熊本	鹿兒島
曾根(山陽)	門 二・六六	門	門	門	門
飾磨	二・七〇				
那波	二・七五				
宇野	三・〇二				
笠岡	三・〇七				
松永	三・一六				
尾道	三・一六				
糸崎	三・二一				
柳津	三・五九	九七	一八〇	二〇二	二八三
下松	三・六八	八八	一七一	二〇九	三〇二
福川	三・七七	九〇	一九〇	二一二	三一一
三尻	三・七七	七八	一六一	二〇一	三〇〇
安治川口	二・四八				

第四節 徵收回送費

鹽ノ回送ヲ開始シタル當時ニ於テハ買受人ノ請求ニ依リ請求者ノ費用ヲ以テ其ノ指定シタル地ニ回送賣渡ヲ爲シタルモ明治三十九年八月沖繩鹽ヲ宮崎方面ヘ回送シタルトキハ其ノ費用ハ全